

コイン駐車場の立地と利用に関する調査分析

大同工業大学 正員 舟渡悦夫
 大同工業大学 ○ 青山健一
 大同工業大学 古川文子

1. はじめに

無人式の24時間営業で、駐車時間が20分刻みの「コイン駐車場」が、都心部において増え続けている。そこで、コイン駐車場が立地する地区の環境特性ならびに駐車場利用者の利用特性から、同駐車場の存在意義、問題点を探ることにした。なお、本研究の分析対象地区は名古屋市の都心であり、立地環境調査と駐車利用実態調査のうち、本分析では立地環境調査のみについて報告するものである。

2. コイン駐車場業者に対するヒアリング調査

コイン駐車場の立地環境調査を実施する前に、名古屋市内でコイン駐車場を運営する3つの業者に対してヒアリング調査を行い、以下の示唆を得た。

利点：①バブル経済崩壊後のため売れなくなった土地、使えなくなった土地を有効に利用できる。②土地所有者は、駐車場の建設、維持、管理に直接関与することはない。③都心の違法路上駐車への減少に寄与している。④利用者からは、短時間・低料金という理由から好評である。

欠点：①四駆車による料金の踏み倒しが多々あり、機械の破損もある。②機器の設備投資や、大型駐車場建設と比べ補助金の助成がない等の経営上のリスクが若干ある。③最近、土地の確保が難しくなっている。

3. コイン駐車場の立地環境調査の概要

名古屋市都心地区に立地する58個所のコイン駐車場について以下の方法で、立地環境を調査した。

- ①調査時期：8年10月30日～11月25日
- ②調査地区：栄、新栄、名駅、東桜、今池など
- ③調査方法：現地における調査シートへの記入、写真撮影
- ④調査範囲：コイン駐車場から半径100mの範囲
- ⑤調査項目：駐車料金、収容台数、駐車台数、機器破損状況、前面道路幅員、バス路線、駐車場周辺の建物・土地利用、周辺駐車場の種類・構造・収容台数、交通規制状況など

4. コイン駐車場の立地環境調査の結果

1) コイン駐車場の収容台数（図-1参照）

- ・収容台数は、2～11台が大半で、平均収容台数は約9台であるが、15～35台収容のコイン駐車場が11箇所ある。

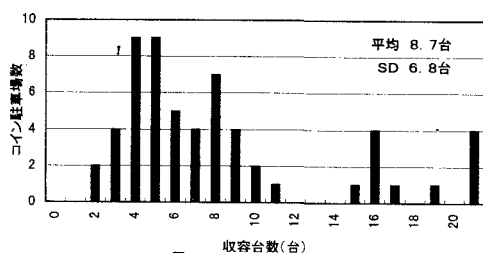


図-1 コイン駐車場の収容台数

2) コイン駐車場の地区別満パイ率

図-2に示す地区別の個別コイン駐車場の満パイ率（駐車台数/収容台数）から、以下のことがわかった。

- ・全体でみると、満パイ率は65%で比較的に利用されていることがわかる。
- ・栄地区では約半数のコイン駐車が100%の満パイ率であった。狭い道に面し案内が悪い1カ所での満パイ率は0%であった。
- ・新栄地区では満パイ率が全地区の中で最も低く、平均で49%であった。幹線道路に近いが、案内が悪い、さらには周辺に時間貸駐車場が多いこと

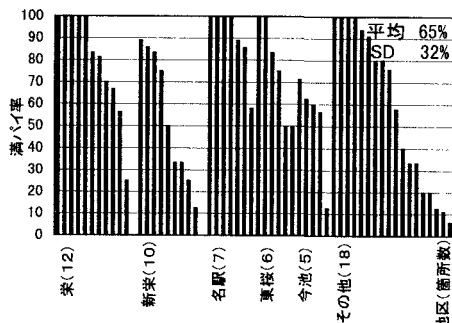


図-2 コイン駐車場満パイ率

がその原因と思われる。

- ・名駅地区では90%の最も高い満パイ率であった。
- ・東桜地区では、収容量が少ないコイン駐車場のみであり、満パイ率は比較的高かった。

3) 地区別に見た駐車場数、収容台数の検討

ここでは、地区別に駐車場種別、構造別の駐車場数、ならびに屋外駐車場に限った収容台数について考察する。

①地区別、種類別の駐車場数(図-3参照)

- ・各調査範囲内における「専用」「月極」の平均駐車場数は11~13箇所であるが、「時間貸」の場合は2箇所と少なくなっている。
- ・「専用」については、新栄・今池地区で他地区に比べ駐車場数が少く、「月極」が多くなっている。
- ・「時間貸」は、栄・新栄・名駅の3地区で多い。
- ・名駅地区における専用駐車場数の分散が大きい。

②地区別・構造別の駐車場数(図-4参照)

- ・全地区で「屋外」駐車場が多く(20箇所)、ついで「ビルの1F」(3.1箇所)、「ビル内」(1.4箇所)となり、「立体専用」と「地下」は1カ所以下となっている。
- ・「ビル内」の駐車場(ビル1F・ビル内)の方が「立体」の専用駐車場より多い。
- ・「屋外」駐車場が少ない地区は、東桜とその他の地区である。
- ・建物内に車を止めるという行為を考えた場合、スマートにビル1F・ビル内に止める方が、立体専用の手間にくらべて楽であると思われる。

③地区別の屋外収容台数の種類別内訳(図-5参照)

- ・屋外駐車場の収容台数の割合をみると、「月極」が63%、「専用」が30%、「時間貸」が7%と、「月極」はどの地区でも60~73%の高い割合となっている。
- ・箇所数で見ると、「専用」と「月極」はほぼ同数であったが、収容数でみると、「専用」は「月極」の半分程度になっている。

4) その他の項目について

- ・料金設定の時間区分は、「8~22時」が40%、「終日一定」が40%、「8~24時」が20%であった。
- ・コイン駐車場の1/4はバス通りに面している。

5. おわりに

この立地環境調査は、コイン駐車場の利用実態調査を行う地点選定調査として位置づけており、今後、コイン駐車場と屋外時間貸駐車場との比較分析を行う予定である。

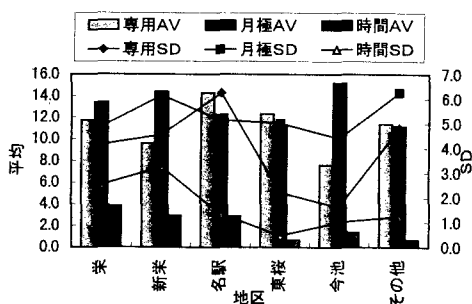


図-3 地区別、種類別の駐車場数

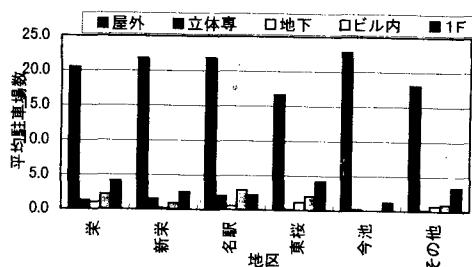


図-4 地区別、構造別の駐車場数

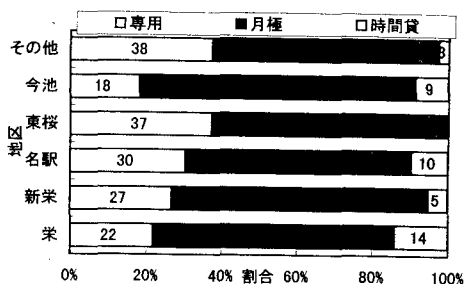


図-5 地区別、屋外収容台数の内訳

参考文献

- 1) 「人気増すコイン駐車場」：朝日新聞、96年7月30日朝刊
- 2) 「愛知県道路地図」：愛知県道路使用適正化センター、93年7月発行
- 3) 駐車場建設の手引き：財団法人 都市交通問題調査会、96年